

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲		-35℃～+85℃(注1)			保存温度範囲		-10℃～+60℃(注3)			
	使用湿度範囲		20%～80%(注2)			保存湿度範囲		20%～70%(注3)			
	電圧		AC 250V			電流		3A			
性能											
	項目		試験方法			規格			QT	AT	
構造	外観、構造及び仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致すること。			○	○	
	表示		目視にて確認する。						○	○	
電気的性能	接触抵抗		100mA(DC又は1000Hz)で測定する。			30mΩ以下			○	—	
	絶縁抵抗		DC 500Vで測定する。			1000MΩ以上			○	—	
	耐電圧		AC 650Vの電圧を1分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	—	
機械的性能	繰り返し動作		50回の抜き差しを行う。			①接触抵抗：30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	単体挿抜力		□0.5±0.002mmの鋼製ピンにて試験する。			差込力 4.4 N以下 引抜力 0.3 N以上			○	—	
	耐振性		周波数10～55Hz、片振幅0.75mm、3方向 各2時間試験する。			①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	耐衝撃性		加速度490m/s ² 、持続時間11ms、正弦半波3方向 各3回試験する。			①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
環境的性能	定常状態の耐湿性		温度+40±2℃、湿度90～95%の条件で、96時間放置後、試験する。			①接触抵抗：30 mΩ以下 ②絶縁抵抗：500MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	温度サイクル		温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → 5～15 → 30 → 5～15分 を5サイクル 試験する。			①接触抵抗：30 mΩ以下 ②絶縁抵抗：1000MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	半田耐熱性		【 70-半田付けの場合 】 半田温度 250±5℃、 浸漬時間 10秒間の半田付けを行う。 【 手半田の場合 】 半田ごてで290±10℃、2秒の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。			外観の変形及び端子等に著しいがたがないこと。			○	—	
	半田付け性		半田温度 230±5℃、 浸漬時間 3秒間の半田付けを行なう。			半田浸漬面の95%以上が新しい半田で濡れていること。			○	—	
備考						製図	設計	検図	承認	出図	
(注1) 通電による温度上昇を含む。											
(注2) 結露のないこと。											
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。 試験規格の記載のない試験方法は JIS C 5402を適用している。											
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表			製品名 DF3-*S-2DSA (55)					
旧CL CL			図番 SLC4-162329-28			製品コード CL543			1/1		